70周年を迎えて

代表取締役社長　安永　暁俊

いよいよ新年度が始まりました。今年は13名の新入社員を仲間として迎え入れ、大変うれしく思っています。新しい仲間とともに、今年度の目標達成に向けて一歩ずつ進みましょう。

今年、株式会社 安永は設立70年を迎えます。創業からは96年となります。

1923年に初代社長の安永芳房が「安永鉄工所」を創業し、農機具等の製造・修理を始めました。その後、1949年に「株式会社 安永鉄工所」を設立しました。1988年には、CIを導入し、「株式会社 安永」へ商号を変更し現在に至ります。

これだけ長きに渡り会社が続けてこられたのも、ひとえに社員の皆様のご努力と、地域の皆様のご理解があってのことと考えております。

これからも、企業理念である社会文化の豊かさに貢献していける企業でありたいと思います。

さて、ささやかではありますが、今年は70周年を記念した取り組みを予定しています。

5月　新規夏服
9月　記念品（お菓子）
11月　70周年記念ファミリーイベント

新規夏服について

まず夏服の更新について述べます。

会社の制服は、1988年のCI導入時に、現在のクリーム色の冬服、水色の夏服にイメージチェンジしました。その後、マイナーチェンジを経て今に至っています。

年々夏の温度が上昇する中、特に昨夏は異常ともいえる暑さとなりました。伊賀市でも、猛暑日（35度以上）が24日と過去最多となりました。

会社として有効な工場の高温対策はないかと悩む中で、ある自動車メーカーさんのカイゼン事例から、素晴らしい考えを学びました。それは、生産ライン内で、特別な空調管理が必要な設備でした。初期ラインでは、機械全体を空調室に入れて温度管理されていましたが、最新ラインでは、空調室を廃止し機械内部の加工部分のみ、密閉する仕様へ設備改善されていました。ムダを排し本当に必要な機能を見極め、改善された素晴らしい取り組みに触れました。これを、当社の暑さ対策にも活かせないものかと考えました。

当社には古くからある建屋もあり、気密性や断熱性が高くなく、工場全体を丸ごと冷やすのが難しい面があります。ただし、暑さが年々厳しくなる中、働く人たちの職場環境を改善するためにはどうすべきか。工場全体は難しくても、個々人を冷やすことはできないかと考えました。調べる中で、最近は作業服も進化していて、空冷服や水冷服といったものが使われていることが分かりました。

工場で働く社員の皆さんの身体を冷やすことができれば、熱中症なども減るのではないかと考え、社内で新しい夏服として検討するようお願いしました。制服検討委員会を立ち上げ、労働組合にも参加してもらい検討してきました。工場作業での安全性や作業性を確認した上で、皆さんに選んでもらいます。

空冷服は、身体にファンの空気を当てて、かいた汗を気化して冷やします。水冷服は、職場に設置する冷凍庫で保冷剤を凍らせ、それで身体を冷やします。試着した方からは、かなりの効果があるとの声が多く寄せられました。また、工場の制服と同時に、事務所の制服も見直します。より薄手で涼しい素材を採用し、28度の室内でも快適なものとなります。

新しい夏服により、皆さんが熱中症にかかることなく快適に働けるよう、職場環境を整えていきます。

70周年記念ファミリーイベントについて

安永本社の70周年を迎えますが、記念すべき節目となりますので、安永グループの社員の皆さんにも、また、ご家族の方にも参加してもらい、ご一緒にお祝いしたいと思います。当日は、より一層安永グループの活力を高め、団結力を深めるような素敵な催しを企画していますので、是非楽しみにしてください。

毎年の全社的な行事について

ここで、周年の記念行事ではなく、毎年行われていた全社的な行事（レクリエーション）について振り返ってみたいと思います。社史を見てみますと、1950年代、1960年代、1970年代と体育大会が催され、その後しばらく空いてから、1990年代にサマーフェスタが開催されました。2000年代、2010年代には今に続くファミリーイベントが開催されています。

1957年-1971年　オール安永体育大会
1992年-1998年　サマーフェスタ in Yasunaga
2008年　ファミリーイベント（運動会）
2011年-2018年　ファミリーイベント

こうしてみると、安永の全社行事は、世の中の流れを反映していると感じます。昭和の時代には、社内運動会が全盛でした。平成に入ってから陰りが見られましたが、近年、全社行事を復活させる企業が増えつつあります。

何十年も昔は、全社行事へは有無を言わさず全員参加が当たり前でしたが、時代背景が変わった現代では、会社として全社行事の面白さをアピールし、できるだけ多くの社員に参加してもらう方向に変わってきました。

ファミリーイベントについて

2011年4月の社内報で、『全社で活力を高め、一体感を作り上げていく目的で、全社イベントをします』とお約束しました。その年からファミリーイベントを復活させ、皆さんのご理解とご協力のお陰で、今日まで続けることができました。

5年、10年とファイミリーイベントを続ける中で、よりよい方法に改善しながらイベントを企画してきました。その経緯をお話しします。

✓『手段』が『目的』になってはいけない

ファミリーイベントは、会社にとって大切なイベントです。ただし気をつけないと、企画側は、とにかくイベントを開催すれば、それだけで参加者に楽しんでもらえるはずだと考えがちです。そのように短絡的に考えてしまうと、『手段』に走りがちです。手段に走ってしまうと、後先を考えず目の前にあるその年の企画しか考えません。また、開催することが『目的』になってしまうので、開催後に総括や反省をして、次につなげる意識も薄くなってしまいます。

しかし、それではイベントを何年も積み重ねた時に、より良いものになってきたと参加者の皆さんに実感してもらえるか分かりません。

ファミリーイベントのテーマ

2008｜ワイワイガヤガヤ 思い出づくり
2011｜わくわく家族のふれあいの日
2012｜笑顔いっぱい歩けば広がる和！話！輪！
2013｜来て 見て 知って 楽しむ Zoo!
2014｜感謝感謝の 65 年 Joh Joh 気分で楽しもう♪
2015｜笑顔もいっぱい！おなかもいっぱい!! 今年もいっぱい楽しむぞ !!!
2016｜ココロとカラダの健康づくり
2017｜伊賀の地を安永と忍者で盛り上げよう！
2018｜伊賀の文化に触れてだ～こ

✓『目的』や『目標』から『手段』を考える

安永グループの活力と一体感を『目的』とすると、参加者の輪を広げるのが『目標』の一つになります。目標を達成する為に、様々な工夫をこらして『手段』を考えます。

多くの方に参加いただき、満足してもらうためにどうすれば良いか。小学生以下の小さなお子様が喜ぶような、輪投げやヨーヨーすくい、ミニサッカー、フワフワ遊具、移動動物園、ミニ汽車、お絵かきバスなどを企画してきました。楽しめるステージショーや伊賀焼体験などに加えて、伊賀肉などを使用したご当地グルメなど食べ物屋台も充実してきました。毎年おおいに盛り上がる職場対抗ゲームや、日頃の感謝を示す永年勤続の表彰、恒例となっている大抽選会もあります。家族の方には、会社の雰囲気に触れてもらう貴重な場でもあります。

ファミリーイベントでは、毎年、実行委員会を組織して、時間をかけてテーマを検討してきました（上を参照）。実行委員会が必死に考え、工夫をこらした結果、年々参加者の数が増えてきました。

過去を振り返ると、上々の年も反省の年もありましたが、年を重ねるごとに素敵なイベントになってきました。若手を中心に実行委員会が、自分たちでしっかりと考えて行動しています。全社イベントという大きな取り組みを成功に導く姿を見て、非常に頼もしく感じます。

70周年を迎えて

今年度もいよいよ始まります。会社がここまで続いてきたことに対して、先人や周りへの感謝を忘れず、仕事も遊びもしっかりと取り組んでください。

節目となる今年を素敵な年にしましょう！